臺灣昌新報
夕刊
六月二十八日
夕刊之部　一部二錢
臺北市榮町一丁目一番地　人材登庸機關
電話二局百五十四番　臺北市北署
社報新日日新報社　所行發

農產ターミン取扱店
花椿　ヒオスゼリー
台北艋舺本店

ドニエプル河畔で赤軍主力部隊を包圍

快速利す獨機械化部隊

【ベルリン二十八日國聯】獨逸ポーランド國境線に沿ふ獨軍の各部隊はそれぞれ命じられてゐるひミンスクからリトミール（キエフ西方百四八十粁）に到る四百粁の正面に於ける國境スターリン線を突破し更に國境より四百キロ以上も進撃して有力獨ソ國境線の全面に亘つて獨ソ國境線を突破した、二十七日午前までに國境より四百キロ以上も進撃した獨軍はベラルーシ國境方面ポーランド方面ルーマニア方面から突入した獨力機械化部隊の進撃を利用し逐次包圍殲滅の態勢に移行し所々に於て大小數つかの包圍戰を完成し目下これを殲滅しつつ戰線を整理しつゝある

【ベルリン二十八日國聯】獨軍の發表によれば獨軍はドニエプル河畔の要衝モギレフ（ミンスク東北八十粁）ボブルイスク（ミンスク東百五十粁）ボブルイスクからドニエプル河畔に沿ひ南下中の獨軍の一部は二十七日夕ドニエプル河を渡河し二個師團の兵力を以てドニエプル河畔の要衝モギレフを包圍攻撃中であつて殘りの部隊は更に南下中であるが獨軍の一部はドニエプル河畔に沿ひ南下中の獨軍の一部と連絡を取つたと發表した

【ベルリン二十八日國聯】獨軍の發表によれば獨軍は

皇太后陛下行啓

宮内省互助會病院へ

【東京發聯合】皇太后陛下には二十八日午後一時三十分大谷大夫を御差遣あらせられ宮内省互助會病院へ行啓あらせられた

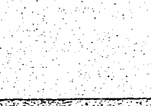
【東京發聯合】皇太后陛下には二十八日午後一時三十分大谷大夫を御差遣あらせられ宮内省互助會病院へ行啓あらせられた

快刀亂麻鮮やか

輝しい業績に組閣一周年近づく

近衛―さん　日本一の繁忙振り

【東京發聯合】近衛首相は愈々組閣一周年を迎へるが首相はこの一つある近衛内閣に近く組閣一周年を迎へるが首相はこの間約多事に且つ内外の激務を處理しかも近衛は日ごとに三日も缺かさず閣議を開き又つねに國民に親しい元首振りを發揮してゐる、去る二十五日には在京諸知名士を招き昼食會を催し



兄弟揃って大陸に散る

嵩上等兵戰死

【嵩特電】嵩南投出身の嵩上等兵は北支戰線に於て十五日午後十時名譽の戰死を遂げた、嵩上等兵は昨年十月應召入營後一年間の現役を終へ本年三月除隊歸郷したが、その後間もなく再び應召入營、北支戰線に出動以來目覺ましい働きをなし、今回の戰死は全く名譽の戰死であり、嵩上等兵の父親は嵩南投街役場に勤務してゐるが、嵩上等兵の兄も昨年應召入營後一年間の現役を終へ

(第三種郵便物認可) 昭和十六年六月二十九日 (日曜日)

南方共榮版

世界を震駭させた 世紀の日曜日

相搏つ獨ソ陸空軍

獨ソ開戰に世界の目睹を集めた、二十一日のヒトラー獨逸の對ソ宣戰布告リスト發表の翌日曜日は、一面獨ソの戰爭の外、殆んど全く戰爭一色に塗りつぶされた觀があつた、獨逸は先づ空軍の猛爆撃を以てソ聯の地へ殺入し、ソ聯はモスクワ以西の領土を犧牲の覺悟の下に、國境に二ケ月で西歐殲滅戰を展開した、獨逸の宣戰布告を待つまでもなく、ソ聯の國境には既に數多の兵力が配置されてゐる、ウオロシーフ元帥が、獨軍三百萬を相手に生死を賭した、獨軍の如き國境突破を許すか否やは、ここに殺戮戰を實へるのは、これまで世界の驚とされてゐた「電撃の獨ガ」が發揮さるゝ時であり、獨逸國防軍の眞價が問はるゝ時である

世界戰爭の發端を見るも、獨軍の西歐侵攻は自國民に對し、これが發端に際しての覺悟を促したものであつた、ただ獨逸の敵とする點が、そこには獨逸に與した國家が現れて來ることに對しても、スターリン獨裁政權が、ソ連人民に對し、十分の納得がないこと、スターリンの赤軍獨裁政權が獨逸國民はしめたこと、獨逸の呼ぶ赤軍はしかの防衛にあるレニングラードを中心に展開してゐるものゝ如く、獨ゴムの如き抵抗力から獨逸の作戰範圍は以上の廣大な地域に亘るものと思はれる、獨逸への經濟封鎖が獨逸國民に如何に響くかは、獨逸の最も關心するところであるが、獨逸への經濟封鎖は、ソ聯の對獨經濟封鎖に對しても、獨逸の對ソ經濟封鎖に對しても、獨逸の對ソ經濟封鎖に對しても、獨逸の對ソ

成層圏 (1)

廣津和郎作
大貫松三畫

觀科山 (一)

港口にキロかせいせいキロ半位の距離であるが、何しろ登りなので一時間と見ると相當骨が折れる。左の手に鐵杖をつき、右の手に一升壜のカンヅメをぶらさげ、腰に辨當袋をからいで登つて行くと駱駝が苦しくなつて、途中で二度も二度休まねばならない。

併しその登り道がやがて盡きると、そこに平な高原が擴げて來る。即ちキヤンプ地と稱せられるところで、觀光にはそこここにキヤンプが張られ、この山の中に思ひもかけない都會、若者たちの國ひる間出るが、今はまだ夢のやうに早いので殆んど人の影は見えない。時々鈴を鳴らして驢馬が通るくらゐのものである。

併しこの高原に足を踏み入れると共に、今まで感れてゐた觀科山の全貌が突如として左手の谷を越して眼はれて來る。それを見ると誰でも三度目の今までの登りの疲れを忘れ、思はず「あゝ」と叫びたくなるのである。觀音の聳えるあたりは新しい觀光が崩れて來るのである。

左手大が「女の神山の觀科山は、下の觀科觀音堂からはよく見えない。このキヤンプ村まで登つて來て、始めてその全貌に接する事が出來るわけなのである。

觀科山は二年前の秋に來て、觀科の觀科山をスケッチした事があつた。若葉の觀科山を見たいといふのはその時からの念願で、今年は五月の中からそれを樂んでゐたのであるが、併し思ひ立つても思ひ通りにならないのが人間の常だとでもいふ若葉の季節に遅れたかと思つたが、併しまだ見ると、東京よりも一ケ月も觀科の遅いこの邊では、個々の觀科に立つ木の芽の觀科が美しいなどといふ事はまだ出來ないのではないかといふ氣がして、もうこれ以上觀科を延ばすことは出來ないと思ひ切つて來るわけなのである。

もう一つ後が觀科なのは、觀科近いが觀科なのではない。もしかすると觀科の觀科は觀科の觀科を見ないものには觀科は觀科はもつくものではない。

昨日下の觀科に觀科を取つて、もう今日で二觀科は觀科キヤンプ村まで觀科て來るわけなのである。

觀科は觀科の觀科に觀科して、觀科の觀科を觀科に觀科して觀科の觀科を觀科に觀科して觀科の觀科を觀科に觀科して

臺灣日日新報
本日夕刊共八頁
社長 江口勇作
編輯兼發行人 所在地 臺北市榮町二丁目十番地
電話 新聞 日日 編輯 部 所在地 臺北市榮町二丁目十番地
一〇八五番 一〇八五番 代表
定價 本紙 一ヶ月金貳圓 一ヶ月金貳圓
廣告 一ヶ月金貳圓四十錢 一ヶ月金貳圓四十錢
一ヶ月金七拾錢 一ヶ月金七拾錢

王クレヨン 王子のぐ パッセル

帝國、二億圓限度に國府に借款を供與

きのふ政府當局發表

【東京發同盟】帝國政府は今回國民政府に對し二億圓を限度とする借款を供與することに決定その實行に關する具體的細目については正金銀行等と國民政府當局との間に於て折衝を行ふことになつた、右について二十八日午後四時政府當局より次の如く發表された

今回帝國政府は國民政府の要望に應へ取敢ず限度三億圓の借款供與方を決定したが、これが實行については横濱正金銀行等に於てその衝に當ることとせり

帝國の誠意を顯示

國府の育成強化促進へ

【東京發同盟】帝國政府は今回國民政府に對し三億圓を限度とする借款供與方を決定したが、これは第三國人より日本の國防力を強化するものであると同時に日華基本條約の精神に基づき日滿と國民政府との緊密なる關係に鑑み國民政府の財政經濟の安定を期し、もつて日滿と國民政府との緊密なる關係を基礎として日華間の全面的和平の實現に資せんとするものである、同借款は東亞の安定

【東京發同盟】帝國政府は今回國民政府に對し三億圓を限度とする借款供與方を決定したが、これは第三國人より日本の國防力を強化するものであると同時に日滿と國民政府との緊密なる關係に鑑み國民政府の財政經濟の安定を期し、もつて日滿と國民政府との緊密なる關係を基礎として日華間の全面的和平の實現に資せんとするものである、同借款は東亞の安定

國民更生金庫設立

卅日省令公布、一日實施

【東京發同盟】時局下國民に對し中小企業者及小農漁業者等の更生を圖り、これ等の者の負擔する債務の適正なる調整を行ふ爲國民更生金庫法（法律第六十六號）が公布せられ、これに基く國民更生金庫（資金二十億圓）は愈七月一日より發足することになつたが、これに關する勅令、省令は卅日次の如く公布された

國民更生金庫法施行令（勅令第四百十二號）
國民更生金庫法施行規則（大藏省令第四十六號）
國民更生金庫の業務の範圍に關する件（大藏省令第四十七號）
國民更生金庫の資金の運用に關する件（大藏省令第四十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第四十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十一號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十二號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十三號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十四號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十五號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十六號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十七號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第五十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十一號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十二號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十三號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十四號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十五號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十六號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十七號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第六十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十一號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十二號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十三號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十四號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十五號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十六號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十七號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第七十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十一號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十二號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十三號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十四號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十五號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十六號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十七號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第八十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十一號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十二號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十三號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十四號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十五號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十六號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十七號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十八號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第九十九號）
國民更生金庫の債務の保證に關する件（大藏省令第百號）

和平大規模建設へ

明朗なる飛躍邁進

周財政部長、感謝の辭

【上海二十八日發同盟】帝國政府の國民政府に對する三億圓の借款供與を決定したことは、一面經濟的援助を以て日本軍撤兵を援助せんとするものであつて、日本軍撤兵を以て直ちに日滿と國民政府との緊密なる關係を破棄せんとするものでないことは勿論である、帝國政府は國民政府の財政經濟の安定を期し、もつて日滿と國民政府との緊密なる關係を基礎として日華間の全面的和平の實現に資せんとするものである、國民政府は帝國政府の誠意を認識し、日華間の全面的和平の實現に邁進するであらう

重慶側動搖

對國府、帝國の誠意に

【上海二十八日發同盟】帝國政府の國民政府に對する三億圓の借款供與決定に關し、重慶側は二十八日午後五時三十分宣傳部長張道藩、外交部長王寵惠、軍事委員會參謀次長林蔚等重慶要人多數會合し、緊急會議を開いて大局を討議したが、席上帝國政府の誠意ある措置に對し、國民政府の態度を明かにすべきであるとの意見一致し、更に會議を續行することとなつた

海鷂、重慶を爆撃

萬縣、忠州にも巨彈の雨

【〇〇基地二十八日發同盟】中支那方面航空部隊發表―廿日、中南部奥地の重慶を中心とする揚子江沿岸各地の軍事施設は本日大爆撃を敢行、猛爆を加へ、炎々たる大火災を起さしめた

江上飛行隊は陳家老屋襲撃

【〇〇基地二十八日發同盟】中支那方面航空部隊發表―廿八日午前零時半より二時半に亘り重慶北郊の陳家老屋（全長約九百二十五キロ）を攻撃、爆撃命中、多數の建物を倒壊せしめたり

神戸埠頭汪主席感激の謝辭

【神戸特電二十八日發同盟】二十八日午後五時三十分神戸着の特別列車にて歸還の途に就いた汪主席一行は、神戸埠頭に於ける送迎者に對し、次の如き謝辭を述べた

日本朝野に應へて

共同聲明實踐へ

汪主席ステートメント

【南京二十八日發同盟】汪主席は二十八日國民政府主席官邸に於ける記者團との會見に際し左の如きステートメントを發表した

今回の訪日に際し、日本皇室より受けた御親切と、朝野一般より受けた歡迎とに對し、余並に余の同行者一同は衷心感激に堪へない、余は日本國民の熱烈なる歡迎に對し、特に日本國民の代表者たる近衛首相に對し、感謝の意を表したいと思ふ、余は日本滯在中、日本國民の熱烈なる歡迎に對し、特に日本國民の代表者たる近衛首相に對し、感謝の意を表したいと思ふ、余は日本滯在中、日本國民の熱烈なる歡迎に對し、特に日本國民の代表者たる近衛首相に對し、感謝の意を表したいと思ふ

日華混合委員會設立

本多大使の歸任を俟ち本格的に諸問題解決へ

【南京二十八日發同盟】國民政府汪主席並に國民政府の要請を受けた日本國政府は、本多大使の歸任を俟ち、日華混合委員會を設置し、東亞新秩序建設の目的を達成するの方策を講ずることとなつた、即ち日華兩國は從來の國交關係を一擲し、新たに東亞新秩序建設の目的を達成するの方策を講ずることとなつた

日華混合委員會設立

本多大使の歸任を俟ち本格的に諸問題解決へ

【南京二十八日發同盟】國民政府汪主席並に國民政府の要請を受けた日本國政府は、本多大使の歸任を俟ち、日華混合委員會を設置し、東亞新秩序建設の目的を達成するの方策を講ずることとなつた、即ち日華兩國は從來の國交關係を一擲し、新たに東亞新秩序建設の目的を達成するの方策を講ずることとなつた

貿易の計畫化確立

國策會社設立の要

日商、政府に要望を建議

貿易會社設立問題に關しては、日本商工會議所に於ても、既に數回に亘り研究を重ねて來たが、今回政府に於て貿易會社設立の方針を決定するに至つたので、日本商工會議所では、貿易會社設立に關する具體的要望事項を纏めて、二十八日午後二時より、日本商工會議所會頭藤山愛一郎氏、副會頭郷古潔氏、理事小林中氏、同藤山雷太氏、同岩原謙三氏、同池田成彬氏、同結城豐太郎氏、同小倉正恒氏、同小野田セメント社長諸井恒平氏、同日本製鐵社長三鬼隆氏、同日本鋼管社長白石元治郎氏、同日本曹達社長正田貞一郎氏、同日本窒素肥料社長野口遵氏、同日本鑛業社長久保田豐氏、同日本化學工業社長大河内正敏氏、同日本油脂社長湯淺佐一郎氏、同日本電氣工業社長森矗昶氏、同日本製粉社長正田貞一郎氏、同日本製粉社長正田貞一郎氏、同日本製粉社長正田貞一郎

社說

畏し金鵄勳章制の改正
叡慮を拜して過なきを期せ

一　明治二十三年二月十一日、紀元節の佳辰をトして公布された金鵄勳章は、爾来五星の徽章を授けられた金鵄勳章受賞者の榮誉を象徴するものであつて、今回更に武功抜群の戰死者と生存者との間の差別を撤廃し一階級金鵄勳章を授與するの制度を設け、且つ年金額を増加して、長き渡りの間に亘る勳績に報いんとの聖旨に基き、勳章條例の改正が行はれたことは、久二國以上の戰場を轉戰して武功の顯著なる者が戰死の榮譽を擔ふて斃れた場合と雖も、その勳績に於ては生存者と何等異なるところなきを以て、その遺族に對しても生存者と同樣の恩典に浴せしめんとの趣旨に外ならぬのであつて、外國に於ける勳章制度の如く、單に一時の勳功の記念、榮譽と勢利とを結び付けるが如きは我が國體の本義とする所ではない。

二　今次の改正は、武功抜群の戰死者と生存者との間の差別を撤廃し、一階級金鵄勳章を授與するの制度を設けたことと、年金額を増加したことの二點であるが、前者は從來の制度が戰死者に對して餘りに冷遇を與へてゐたことを改めて、その遺族に對しても生存者と同樣の恩典に浴せしめんとするものであつて、

國民に覺悟を強調

事變第四周年の記念日を迎へ

各大臣らマイクの前で

【東京發同盟】支那事變第四周年記念日を卽くるに當り政府は擧國一致國民總力發揮の決意を新たにせんとの趣旨から七日午後七時から二十分間に亙りマイクの前に並ぶ國民に對して呼びかけを爲すことゝなつた、大臣の放送順序は

△二日=農林問題について…井野農相

△三日=生産力擴充について…小倉藏相

△四日=勞務について…藤田厚相

△五日=防衛について…中島軍需相

△六日=貿易について…小林商工相

△七日=金融について…賀屋藏相

△八日=國民の覺悟について…藤田厚相

△九日=國民總力について…近衛首相

△十日=國民總力について…近衛首相

△十一日=各大臣の總括的放送

△十二日=各大臣の總括的放送

△十三日=各大臣の總括的放送

△十四日=各大臣の總括的放送

△十五日=各大臣の總括的放送

△十六日=各大臣の總括的放送

△十七日=各大臣の總括的放送

△十八日=各大臣の總括的放送

△十九日=各大臣の總括的放送

△二十日=各大臣の總括的放送

△二十一日=各大臣の總括的放送

△二十二日=各大臣の總括的放送

△二十三日=各大臣の總括的放送

△二十四日=各大臣の總括的放送

△二十五日=各大臣の總括的放送

△二十六日=各大臣の總括的放送

△二十七日=各大臣の總括的放送

△二十八日=各大臣の總括的放送

△二十九日=各大臣の總括的放送

△三十日=各大臣の總括的放送

△三十一日=各大臣の總括的放送

△三十二日=各大臣の總括的放送

△三十三日=各大臣の總括的放送

△三十四日=各大臣の總括的放送

△三十五日=各大臣の總括的放送

△三十六日=各大臣の總括的放送

△三十七日=各大臣の總括的放送

△三十八日=各大臣の總括的放送

△三十九日=各大臣の總括的放送

△四十日=各大臣の總括的放送

△四十一日=各大臣の總括的放送

△四十二日=各大臣の總括的放送

△四十三日=各大臣の總括的放送

△四十四日=各大臣の總括的放送

△四十五日=各大臣の總括的放送

△四十六日=各大臣の總括的放送

△四十七日=各大臣の總括的放送

△四十八日=各大臣の總括的放送

△四十九日=各大臣の總括的放送

△五十日=各大臣の總括的放送

△五十一日=各大臣の總括的放送

△五十二日=各大臣の總括的放送

△五十三日=各大臣の總括的放送

△五十四日=各大臣の總括的放送

△五十五日=各大臣の總括的放送

△五十六日=各大臣の總括的放送

△五十七日=各大臣の總括的放送

△五十八日=各大臣の總括的放送

△五十九日=各大臣の總括的放送

△六十日=各大臣の總括的放送

△六十一日=各大臣の總括的放送

△六十二日=各大臣の總括的放送

△六十三日=各大臣の總括的放送

△六十四日=各大臣の總括的放送

△六十五日=各大臣の總括的放送

△六十六日=各大臣の總括的放送

△六十七日=各大臣の總括的放送

△六十八日=各大臣の總括的放送

△六十九日=各大臣の總括的放送

△七十日=各大臣の總括的放送

△七十一日=各大臣の總括的放送

△七十二日=各大臣の總括的放送

△七十三日=各大臣の總括的放送

△七十四日=各大臣の總括的放送

△七十五日=各大臣の總括的放送

△七十六日=各大臣の總括的放送

△七十七日=各大臣の總括的放送

△七十八日=各大臣の總括的放送

△七十九日=各大臣の總括的放送

△八十日=各大臣の總括的放送

△八十一日=各大臣の總括的放送

△八十二日=各大臣の總括的放送

△八十三日=各大臣の總括的放送

△八十四日=各大臣の總括的放送

△八十五日=各大臣の總括的放送

△八十六日=各大臣の總括的放送

△八十七日=各大臣の總括的放送

△八十八日=各大臣の總括的放送

△八十九日=各大臣の總括的放送

△九十日=各大臣の總括的放送

△九十一日=各大臣の總括的放送

△九十二日=各大臣の總括的放送

△九十三日=各大臣の總括的放送

△九十四日=各大臣の總括的放送

△九十五日=各大臣の總括的放送

△九十六日=各大臣の總括的放送

△九十七日=各大臣の總括的放送

△九十八日=各大臣の總括的放送

△九十九日=各大臣の總括的放送

△百日=各大臣の總括的放送

△百一日=各大臣の總括的放送

△百二日=各大臣の總括的放送

△百三日=各大臣の總括的放送

△百四日=各大臣の總括的放送

△百五日=各大臣の總括的放送

△百六日=各大臣の總括的放送

△百七日=各大臣の總括的放送

△百八日=各大臣の總括的放送

△百九日=各大臣の總括的放送

△百十日=各大臣の總括的放送

△百十一日=各大臣の總括的放送

△百十二日=各大臣の總括的放送

△百十三日=各大臣の總括的放送

△百十四日=各大臣の總括的放送

△百十五日=各大臣の總括的放送

△百十六日=各大臣の總括的放送

△百十七日=各大臣の總括的放送

△百十八日=各大臣の總括的放送

△百十九日=各大臣の總括的放送

△百二十日=各大臣の總括的放送

△百二十一日=各大臣の總括的放送

△百二十二日=各大臣の總括的放送

△百二十三日=各大臣の總括的放送

△百二十四日=各大臣の總括的放送

△百二十五日=各大臣の總括的放送

△百二十六日=各大臣の總括的放送

△百二十七日=各大臣の總括的放送

△百二十八日=各大臣の總括的放送

△百二十九日=各大臣の總括的放送

△百三十日=各大臣の總括的放送

△百三十一日=各大臣の總括的放送

△百三十二日=各大臣の總括的放送

△百三十三日=各大臣の總括的放送

△百三十四日=各大臣の總括的放送

△百三十五日=各大臣の總括的放送

△百三十六日=各大臣の總括的放送

△百三十七日=各大臣の總括的放送

△百三十八日=各大臣の總括的放送

△百三十九日=各大臣の總括的放送

△百四十日=各大臣の總括的放送

△百四十一日=各大臣の總括的放送

△百四十二日=各大臣の總括的放送

△百四十三日=各大臣の總括的放送

△百四十四日=各大臣の總括的放送

△百四十五日=各大臣の總括的放送

△百四十六日=各大臣の總括的放送

△百四十七日=各大臣の總括的放送

△百四十八日=各大臣の總括的放送

△百四十九日=各大臣の總括的放送

△百五十日=各大臣の總括的放送

△百五十一日=各大臣の總括的放送

△百五十二日=各大臣の總括的放送

△百五十三日=各大臣の總括的放送

△百五十四日=各大臣の總括的放送

△百五十五日=各大臣の總括的放送

△百五十六日=各大臣の總括的放送

△百五十七日=各大臣の總括的放送

△百五十八日=各大臣の總括的放送

△百五十九日=各大臣の總括的放送

△百六十日=各大臣の總括的放送

△百六十一日=各大臣の總括的放送

△百六十二日=各大臣の總括的放送

△百六十三日=各大臣の總括的放送

△百六十四日=各大臣の總括的放送

△百六十五日=各大臣の總括的放送

△百六十六日=各大臣の總括的放送

△百六十七日=各大臣の總括的放送

△百六十八日=各大臣の總括的放送

△百六十九日=各大臣の總括的放送

△百七十日=各大臣の總括的放送

△百七十一日=各大臣の總括的放送

△百七十二日=各大臣の總括的放送

△百七十三日=各大臣の總括的放送

△百七十四日=各大臣の總括的放送

△百七十五日=各大臣の總括的放送

△百七十六日=各大臣の總括的放送

△百七十七日=各大臣の總括的放送

△百七十八日=各大臣の總括的放送

△百七十九日=各大臣の總括的放送

△百八十日=各大臣の總括的放送

△百八十一日=各大臣の總括的放送

△百八十二日=各大臣の總括的放送

△百八十三日=各大臣の總括的放送

△百八十四日=各大臣の總括的放送

△百八十五日=各大臣の總括的放送

△百八十六日=各大臣の總括的放送

△百八十七日=各大臣の總括的放送

△百八十八日=各大臣の總括的放送

△百八十九日=各大臣の總括的放送

△百九十日=各大臣の總括的放送

△百九十一日=各大臣の總括的放送

△百九十二日=各大臣の總括的放送

△百九十三日=各大臣の總括的放送

△百九十四日=各大臣の總括的放送

△百九十五日=各大臣の總括的放送

△百九十六日=各大臣の總括的放送

△百九十七日=各大臣の總括的放送

△百九十八日=各大臣の總括的放送

△百九十九日=各大臣の總括的放送

△二百日=各大臣の總括的放送

△二百一日=各大臣の總括的放送

△二百二日=各大臣の總括的放送

△二百三日=各大臣の總括的放送

△二百四日=各大臣の總括的放送

△二百五日=各大臣の總括的放送

△二百六日=各大臣の總括的放送

△二百七日=各大臣の總括的放送

△二百八日=各大臣の總括的放送

△二百九日=各大臣の總括的放送

△二百十日=各大臣の總括的放送

△二百十一日=各大臣の總括的放送

△二百十二日=各大臣の總括的放送

△二百十三日=各大臣の總括的放送

△二百十四日=各大臣の總括的放送

△二百十五日=各大臣の總括的放送

△二百十六日=各大臣の總括的放送

△二百十七日=各大臣の總括的放送

△二百十八日=各大臣の總括的放送

△二百十九日=各大臣の總括的放送

△二百二十日=各大臣の總括的放送

△二百二十一日=各大臣の總括的放送

△二百二十二日=各大臣の總括的放送

△二百二十三日=各大臣の總括的放送

△二百二十四日=各大臣の總括的放送

△二百二十五日=各大臣の總括的放送

△二百二十六日=各大臣の總括的放送

△二百二十七日=各大臣の總括的放送

△二百二十八日=各大臣の總括的放送

△二百二十九日=各大臣の總括的放送

△二百三十日=各大臣の總括的放送

△二百三十一日=各大臣の總括的放送

△二百三十二日=各大臣の總括的放送

△二百三十三日=各大臣の總括的放送

△二百三十四日=各大臣の總括的放送

△二百三十五日=各大臣の總括的放送

△二百三十六日=各大臣の總括的放送

△二百三十七日=各大臣の總括的放送

△二百三十八日=各大臣の總括的放送

△二百三十九日=各大臣の總括的放送

△二百四十日=各大臣の總括的放送

△二百四十一日=各大臣の總括的放送

△二百四十二日=各大臣の總括的放送

△二百四十三日=各大臣の總括的放送

△二百四十四日=各大臣の總括的放送

△二百四十五日=各大臣の總括的放送

△二百四十六日=各大臣の總括的放送

△二百四十七日=各大臣の總括的放送

△二百四十八日=各大臣の總括的放送

△二百四十九日=各大臣の總括的放送

△二百五十日=各大臣の總括的放送

△二百五十一日=各大臣の總括的放送

△二百五十二日=各大臣の總括的放送

△二百五十三日=各大臣の總括的放送

△二百五十四日=各大臣の總括的放送

△二百五十五日=各大臣の總括的放送

△二百五十六日=各大臣の總括的放送

△二百五十七日=各大臣の總括的放送

△二百五十八日=各大臣の總括的放送

△二百五十九日=各大臣の總括的放送

△二百六十日=各大臣の總括的放送

△二百六十一日=各大臣の總括的放送

△二百六十二日=各大臣の總括的放送

△二百六十三日=各大臣の總括的放送

△二百六十四日=各大臣の總括的放送

△二百六十五日=各大臣の總括的放送

△二百六十六日=各大臣の總括的放送

△二百六十七日=各大臣の總括的放送

△二百六十八日=各大臣の總括的放送

△二百六十九日=各大臣の總括的放送

△二百七十日=各大臣の總括的放送

△二百七十一日=各大臣の總括的放送

△二百七十二日=各大臣の總括的放送

△二百七十三日=各大臣の總括的放送

△二百七十四日=各大臣の總括的放送

△二百七十五日=各大臣の總括的放送

△二百七十六日=各大臣の總括的放送

△二百七十七日=各大臣の總括的放送

△二百七十八日=各大臣の總括的放送

△二百七十九日=各大臣の總括的放送

△二百八十日=各大臣の總括的放送

△二百八十一日=各大臣の總括的放送

△二百八十二日=各大臣の總括的放送

△二百八十三日=各大臣の總括的放送

△二百八十四日=各大臣の總括的放送

△二百八十五日=各大臣の總括的放送

△二百八十六日=各大臣の總括的放送

△二百八十七日=各大臣の總括的放送

△二百八十八日=各大臣の總括的放送

△二百八十九日=各大臣の總括的放送

△二百九十日=各大臣の總括的放送

△二百九十一日=各大臣の總括的放送

△二百九十二日=各大臣の總括的放送

△二百九十三日=各大臣の總括的放送

△二百九十四日=各大臣の總括的放送

△二百九十五日=各大臣の總括的放送

△二百九十六日=各大臣の總括的放送

△二百九十七日=各大臣の總括的放送

△二百九十八日=各大臣の總括的放送

△二百九十九日=各大臣の總括的放送

△三百日=各大臣の總括的放送

△三百一日=各大臣の總括的放送

△三百二日=各大臣の總括的放送

△三百三日=各大臣の總括的放送

△三百四日=各大臣の總括的放送

△三百五日=各大臣の總括的放送

△三百六日=各大臣の總括的放送

△三百七日=各大臣の總括的放送

△三百八日=各大臣の總括的放送

△三百九日=各大臣の總括的放送

△三百十日=各大臣の總括的放送

△三百十一日=各大臣の總括的放送

△三百十二日=各大臣の總括的放送

△三百十三日=各大臣の總括的放送

△三百十四日=各大臣の總括的放送

△三百十五日=各大臣の總括的放送

△三百十六日=各大臣の總括的放送

△三百十七日=各大臣の總括的放送

△三百十八日=各大臣の總括的放送

△三百十九日=各大臣の總括的放送

△三百二十日=各大臣の總括的放送

△三百二十一日=各大臣の總括的放送

△三百二十二日=各大臣の總括的放送

△三百二十三日=各大臣の總括的放送

△三百二十四日=各大臣の總括的放送

△三百二十五日=各大臣の總括的放送

△三百二十六日=各大臣の總括的放送

△三百二十七日=各大臣の總括的放送

△三百二十八日=各大臣の總括的放送

△三百二十九日=各大臣の總括的放送

△三百三十日=各大臣の總括的放送

△三百三十一日=各大臣の總括的放送

△三百三十二日=各大臣の總括的放送

△三百三十三日=各大臣の總括的放送

△三百三十四日=各大臣の總括的放送

△三百三十五日=各大臣の總括的放送

△三百三十六日=各大臣の總括的放送

△三百三十七日=各大臣の總括的放送

△三百三十八日=各大臣の總括的放送

△三百三十九日=各大臣の總括的放送

△三百四十日=各大臣の總括的放送

△三百四十一日=各大臣の總括的放送

△三百四十二日=各大臣の總括的放送

△三百四十三日=各大臣の總括的放送

△三百四十四日=各大臣の總括的放送

△三百四十五日=各大臣の總括的放送

△三百四十六日=各大臣の總括的放送

△三百四十七日=各大臣の總括的放送

△三百四十八日=各大臣の總括的放送

△三百四十九日=各大臣の總括的放送

△三百五十日=各大臣の總括的放送

△三百五十一日=各大臣の總括的放送

△三百五十二日=各大臣の總括的放送

△三百五十三日=各大臣の總括的放送

△三百五十四日=各大臣の總括的放送

△三百五十五日=各大臣の總括的放送

△三百五十六日=各大臣の總括的放送

△三百五十七日=各大臣の總括的放送

△三百五十八日=各大臣の總括的放送

△三百五十九日=各大臣の總括的放送

△三百六十日=各大臣の總括的放送

△三百六十一日=各大臣の總括的放送

△三百六十二日=各大臣の總括的放送

△三百六十三日=各大臣の總括的放送

△三百六十四日=各大臣の總括的放送

△三百六十五日=各大臣の總括的放送

△三百六十六日=各大臣の總括的放送

△三百六十七日=各大臣の總括的放送

△三百六十八日=各大臣の總括的放送

△三百六十九日=各大臣の總括的放送

△三百七十日=各大臣の總括的放送

△三百七十一日=各大臣の總括的放送

△三百七十二日=各大臣の總括的放送

△三百七十三日=各大臣の總括的放送

△三百七十四日=各大臣の總括的放送

△三百七十五日=各大臣の總括的放送

△三百七十六日=各大臣の總括的放送

△三百七十七日=各大臣の總括的放送

△三百七十八日=各大臣の總括的放送

△三百七十九日=各大臣の總括的放送

△三百八十日=各大臣の總括的放送

△三百八十一日=各大臣の總括的放送

△三百八十二日=各大臣の總括的放送

△三百八十三日=各大臣の總括的放送

△三百八十四日=各大臣の總括的放送

△三百八十五日=各大臣の總括的放送

△三百八十六日=各大臣の總括的放送

△三百八十七日=各大臣の總括的放送

△三百八十八日=各大臣の總括的放送

△三百八十九日=各大臣の總括的放送

△三百九十日=各大臣の總括的放送

△三百九十一日=各大臣の總括的放送

△三百九十二日=各大臣の總括的放送

△三百九十三日=各大臣の總括的放送

△三百九十四日=各大臣の總括的放送

△三百九十五日=各大臣の總括的放送

△三百九十六日=各大臣の總括的放送

△三百九十七日=各大臣の總括的放送

△三百九十八日=各大臣の總括的放送

△三百九十九日=各大臣の總括的放送

△四百日=各大臣の總括的放送

△四百一日=各大臣の總括的放送

△四百二日=各大臣の總括的放送

△四百三日=各大臣の總括的放送

△四百四日=各大臣の總括的放送

△四百五日=各大臣の總括的放送

△四百六日=各大臣の總括的放送

△四百七日=各大臣の總括的放送

△四百八日=各大臣の總括的放送

△四百九日=各大臣の總括的放送

△四百十日=各大臣の總括的放送

△四百十一日=各大臣の總括的放送

△四百十二日=各大臣の總括的放送

△四百十三日=各大臣の總括的放送

△四百十四日=各大臣の總括的放送

△四百十五日=各大臣の總括的放送

△四百十六日=各大臣の總括的放送

△四百十七日=各大臣の總括的放送

△四百十八日=各大臣の總括的放送

△四百十九日=各大臣の總括的放送

△四百二十日=各大臣の總括的放送

△四百二十一日=各大臣の總括的放送

△四百二十二日=各大臣の總括的放送

△四百二十三日=各大臣の總括的放送

△四百二十四日=各大臣の總括的放送

△四百二十五日=各大臣の總括的放送

△四百二十六日=各大臣の總括的放送

△四百二十七日=各大臣の總括的放送

△四百二十八日=各大臣の總括的放送

△四百二十九日=各大臣の總括的放送

△四百三十日=各大臣の總括的放送

△四百三十一日=各大臣の總括的放送

△四百三十二日=各大臣の總括的放送

△四百三十三日=各大臣の總括的放送

△四百三十四日=各大臣の總括的放送

△四百三十五日=各大臣の總括的放送

△四百三十六日=各大臣の總括的放送

△四百三十七日=各大臣の總括的放送

△四百三十八日=各大臣の總括的放送

△四百三十九日=各大臣の總括的放送

△四百四十日=各大臣の總括的放送

△四百四十一日=各大臣の總括的放送

△四百四十二日=各大臣の總括的放送

△四百四十三日=各大臣の總括的放送

△四百四十四日=各大臣の總括的放送

△四百四十五日=各大臣の總括的放送

△四百四十六日=各大臣の總括的放送

△四百四十七日=各大臣の總括的放送

△四百四十八日=各大臣の總括的放送

△四百四十九日=各大臣の總括的放送

△四百五十日=各大臣の總括的放送

△四百五十一日=各大臣の總括的放送

△四百五十二日=各大臣の總括的放送

△四百五十三日=各大臣の總括的放送

△四百五十四日=各大臣の總括的放送

△四百五十五日=各大臣の總括的放送

△四百五十六日=各大臣の總括的放送

△四百五十七日=各大臣の總括的放送

△四百五十八日=各大臣の總括的放送

△四百五十九日=各大臣の總括的放送

△四百六十日=各大臣の總括的放送

△四百六十一日=各大臣の總括的放送

△四百六十二日=各大臣の總括的放送

△四百六十三日=各大臣の總括的放送

△四百六十四日=各大臣の總括的放送

△四百六十五日=各大臣の總括的放送

△四百六十六日=各大臣の總括的放送

△四百六十七日=各大臣の總括的放送

△四百六十八日=各大臣の總括的放送

△四百六十九日=各大臣の總括的放送

△四百七十日=各大臣の總括的放送

△四百七十一日=各大臣の總括的放送

△四百七十二日=各大臣の總括的放送

△四百七十三日=各大臣の總括的放送

△四百七十四日=各大臣の總括的放送

△四百七十五日=各大臣の總括的放送

△四百七十六日=各大臣の總括的放送

△四百七十七日=各大臣の總括的放送

△四百七十八日=各大臣の總括的放送

△四百七十九日=各大臣の總括的放送

△四百八十日=各大臣の總括的放送

△四百八十一日=各大臣の總括的放送

△四百八十二日=各大臣の總括的放送

△四百八十三日=各大臣の總括的放送

△四百八十四日=各大臣の總括的放送

△四百八十五日=各大臣の總括的放送

△四百八十六日=各大臣の總括的放送

△四百八十七日=各大臣の總括的放送

△四百八十八日=各大臣の總括的放送

△四百八十九日=各大臣の總括的放送

△四百九十日=各大臣の總括的放送

△四百九十一日=各大臣の總括的放送

△四百九十二日=各大臣の總括的放送

△四百九十三日=各大臣の總括的放送

△四百九十四日=各大臣の總括的放送

△四百九十五日=各大臣の總括的放送

△四百九十六日=各大臣の總括的放送

△四百九十七日=各大臣の總括的放送

△四百九十八日=各大臣の總括的放送

△四百九十九日=各大臣の總括的放送

△五百日=各大臣の總括的放送

△五百一日=各大臣の總括的放送

△五百二日=各大臣の總括的放送

△五百三日=各大臣の總括的放送

△五百四日=各大臣の總括的放送

△五百五日=各大臣の總括的放送

△五百六日=各大臣の總括的放送

△五百七日=各大臣の總括的放送

△五百八日=各大臣の總括的放送

△五百九日=各大臣の總括的放送

△五百十日=各大臣の總括的放送

△五百十一日=各大臣の總括的放送

△五百十二日=各大臣の總括的放送

△五百十三日=各大臣の總括的放送

△五百十四日=各大臣の總括的放送

△五百十五日=各大臣の總括的放送

△五百十六日=各大臣の總括的放送

△五百十七日=各大臣の總括的放送

△五百十八日=各大臣の總括的放送

△五百十九日=各大臣の總括的放送

△五百二十日=各大臣の總括的放送

△五百二十一日=各大臣の總括的放送

△五百二十二日=各大臣の總括的放送

△五百二十三日=各大臣の總括的放送

△五百二十四日=各大臣の總括的放送

△五百二十五日=各大臣の總括的放送

△五百二十六日=各大臣の總括的放送

△五百二十七日=各大臣の總括的放送

△五百二十八日=各大臣の總括的放送

△五百二十九日=各大臣の總括的放送

△五百三十日=各大臣の總括的放送

△五百三十一日=各大臣の總括的放送

△五百三十二日=各大臣の總括的放送

△五百三十三日=各大臣の總括的放送

△五百三十四日=各大臣の總括的放送

△五百三十五日=各大臣の總括的放送

△五百三十六日=各大臣の總括的放送

△五百三十七日=各大臣の總括的放送

△五百三十八日=各大臣の總括的放送

△五百三十九日=各大臣の總括的放送

△五百四十日=各大臣の總括的放送

△五百四十一日=各大臣の總括的放送

△五百四十二日=各大臣の總括的放送

△五百四十三日=各大臣の總括的放送

△五百四十四日=各大臣の總括的放送

△五百四十五日=各大臣の總括的放送

△五百四十六日=各大臣の總括的放送

△五百四十七日=各大臣の總括的放送

△五百四十八日=各大臣の總括的放送

△五百四十九日=各大臣の總括的放送

△五百五十日=各大臣の總括的放送

△五百五十一日=各大臣の總括的放送

△五百五十二日=各大臣の總括的放送

△五百五十三日=各大臣の總括的放送

△五百五十四日=各大臣の總括的放送

△五百五十五日=各大臣の總括的放送

△五百五十六日=各大臣の總括的放送

△五百五十七日=各大臣の總括的放送

△五百五十八日=各大臣の總括的放送

△五百五十九日=各大臣の總括的放送

△六百日=各大臣の總括的放送

△六百一日=各大臣の總括的放送

△六百二日=各大臣の總括的放送

△六百三日=各大臣の總括的放送

△六百四日=各大臣の總括的放送

△六百五日=各大臣の總括的放送

△六百六日=各大臣の總括的放送

△六百七日=各大臣の總括的放送

△六百八日=各大臣の總括的放送

△六百九日=各大臣の總括的放送

△六百十日=各大臣の總括的放送

△六百十一日=各大臣の總括的放送

△六百十二日=各大臣の總括的放送

△六百十三日=各大臣の總括的放送

△六百十四日=各大臣の總括的放送

△六百十五日=各大臣の總括的放送

△六百十六日=各大臣の總括的放送

△六百十七日=各大臣の總括的放送

△六百十八日=各大臣の總括的放送

△六百十九日=各大臣の總括的放送

△六百二十日=各大臣の總括的放送

△六百二十一日=各大臣の總括的放送

△六百二十二日=各大臣の總括的放送

△六百二十三日=各大臣の總括的放送

△六百二十四日=各大臣の總括的放送

△六百二十五日=各大臣の總括的放送

△六百二十六日=各大臣の總括的放送

△六百二十七日=各大臣の總括的放送

△六百二十八日=各大臣の總括的放送

△六百二十九日=各大臣の總括的放送

△六百三十日=各大臣の總括的放送

△六百三十一日=各大臣の總括的放送

△六百三十二日=各大臣の總括的放送

△六百三十三日=各大臣の總括的放送

△六百三十四日=各大臣の總括的放送

△六百三十五日=各大臣の總括的放送

△六百三十六日=各大臣の總括的放送

△六百三十七日=各大臣の總括的放送

△六百三十八日=各大臣の總括的放送

△六百三十九日=各大臣の總括的放送

△六百四十日=各大臣の總括的放送

△六百四十一日=各大臣の總括的放送

△六百四十二日=各大臣の總括的放送

△六百四十三日=各大臣の總括的放送

△六百四十四日=各大臣の總括的放送

△六百四十五日=各大臣の總括的放送

△六百四十六日=各大臣の總括的放送

△六百四十七日=各大臣の總括的放送

△六百四十八日=各大臣の總括的放送

△六百四十九日=各大臣の總括的放送

△六百五十日=各大臣の總括的放送

△六百五十一日=各大臣の總括的放送

△六百五十二日=各大臣の總括的放送

△六百五十三日=各大臣の總括的放送

△六百五十四日=各大臣の總括的放送

△六百五十五日=各大臣の總括的放送

△六百五十六日=各大臣の總括的放送

△六百五十七日=各大臣の總括的放送

△六百五十八日=各大臣の總括的放送

△六百五十九日=各大臣の總括的放送

△七百日=各大臣の總括的放送

△七百一日=各大臣の總括的放送

△七百二日=各大臣の總括的放送

△七百三日=各大臣の總括的放送

△七百四日=各大臣の總括的放送

△七百五日=各大臣の總括的放送

△七百六日=各大臣の總括的放送

△七百七日=各大臣の總括的放送

△七百八日=各大臣の總括的放送

△七百九日=各大臣の總括的放送

△七百十日=各大臣の總括的放送

△七百十一日=各大臣の總括的放送

△七百十二日=各大臣の總括的放送

△七百十三日=各大臣の總括的放送

△七百十四日=各大臣の總括的放送

△七百十五日=各大臣の總括的放送

△七百十六日=各大臣の總括的放送

△七百十七日=各大臣の總括的放送

△七百十八日=各大臣の總括的放送

△七百十九日=各大臣の總括的放送

△七百二十日=各大臣の總括的放送

△七百二十一日=各大臣の總括的放送

△七百二十二日=各大臣の總括的放送

△七百二十三日=各大臣の總括的放送

△七百二十四日=各大臣の總括的放送

△七百二十五日=各大臣の總括的放送

△七百二十六日=各大臣の總括的放送

△七百二十七日=各大臣の總括的放送

△七百二十八日=各大臣の總括的放送

△七百二十九日=各大臣の總括的放送

△八百日=各大臣の總括的放送

△八百一日=各大臣の總括的放送

△八百二日=各大臣の總括的放送

△八百三日=各大臣の總括的放送

△八百四日=各大臣の總括的放送

△八百五日=各大臣の總括的放送

△八百六日=各大臣の總括的放送

△八百七日=各大臣の總括的放送

△八百八日=各大臣の總括的放送

△八百九日=各大臣の總括的放送

△八百十日=各大臣の總括的放送

△八百十一日=各大臣の總括的放送

△八百十二日=各大臣の總括的放送

△八百十三日=各大臣の總括的放送

△八百十四日=各大臣の總括的放送

△八百十五日=各大臣の總括的放送

△八百十六日=各大臣の總括的放送

△八百十七日=各大臣の總括的放送

△八百十八日=各大臣の總括的放送

△八百十九日=各大臣の總括的放送

△八百二十日=各大臣の總括的放送

△八百二十一日=各大臣の總括的放送

△八百二十二日=各大臣の總括的放送

△八百二十三日=各大臣の總括的放送

△八百二十四日=各大臣の總括的放送

△八百二十五日=各大臣の總括的放送

△八百二十六日=各大臣の總括的放送

△八百二十七日=各大臣の總括的放送

△八百二十八日=各大臣の總括的放送

△八百二十九日=各大臣の總括的放送

△九百日=各大臣の總括的放送

△九百一日=各大臣の總括的放送

△九百二日=各大臣の總括的放送

△九百三日=各大臣の總括的放送

△九百四日=各大臣の總括的放送

△九百五日=各大臣の總括的放送

△九百六日=各大臣の總括的放送

△九百七日=各大臣の總括的放送

△九百八日=各大臣の總括的放送

△九百九日=各大臣の總括的放送

△九百十日=各大臣の總括的放送

△九百十一日=各大臣の總括的放送

△九百十二日=各大臣の總括的放送

△九百十三日=各大臣の總括的放送

△九百十四日=各大臣の總括的放送

△九百十五日=各大臣の總括的放送

△九百十六日=各大臣の總括的放送

△九百十七日=各大臣の總括的放送

△九百十八日=各大臣の總括的放送

△九百十九日=各大臣の總括的放送

△九百二十日=各大臣の總括的放送

△九百二十一日=各大臣の總括的放送

△九百二十二日=各大臣の總括的放送

△九百二十三日=各大臣の總括的放送

△九百二十四日=各大臣の總括的放送

△九百二十五日=各大臣の總括的放送

△九百二十六日=各大臣の總括的放送

△九百二十七日=各大臣の總括的放送

△九百二十八日=各大臣の總括的放送

△九百二十九日=各大臣の總括的放送

△十百日=各大臣の總括的放送

△十百一日=各大臣の總括的放送

△十百二日=各大臣の總括的放送

△十百三日=各大臣の總括的放送

△十百四日=各大臣の總括的放送

△十百五日=各大臣の總括的放送

△十百六日=各大臣の總括的放送

△十百七日=各大臣の總括的放送

△十百八日=各大臣の總括的放送

△十百九日=各大臣の總括的放送

△十百十日=各大臣の總括的放送

△十百十一日=各大臣の總括的放送

△十百十二日=各大臣の總括的放送

△十百十三日=各大臣の總括的放送

△十百十四日=各大臣の總括的放送

△十百十五日=各大臣の總括的放送

△十百十六日=各大臣の總括的放送

△十百十七日=各大臣の總括的放送

△十百十八日=各大臣の總括的放送

△十百十九日=各大臣の總括的放送

△十百二十日=各大臣の總括的放送

△十百二十一日=各大臣の總括的放送

△十百二十二日=各大臣の總括的放送

△十百二十三日=各大臣の總括的放送

△十百二十四日=各大臣の總括的放送

△十百二十五日=各大臣の總括的放送

△十百二十六日=各大臣の總括的放送

△十百二十七日=各大臣の總括的放送

△十百二十八日=各大臣の總括的放送

△十百二十九日=各大臣の總括的放送

△十一百日=各大臣の總括的放送

△十一百一日=各大臣の總括的放送

△十一百二日=各大臣の總括的放送

△十一百三日=各大臣の總括的放送

△十一百四日=各大臣の總括的放送

△十一百五日=各大臣の總括的放送

△十一百六日=各大臣の總括的放送

△十一百七日=各大臣の總括的放送

△十一百八日=各大臣の總括的放送

△十一百九日=各大臣の總括的放送

△十一百十日=各大臣の總括的放送

△十一百十一日=各大臣の總括的放送

△十一百十二日=各大臣の總括的放送

△十一百十三日=各大臣の總括的放送

△十一百十四日=各大臣の總括的放送

△十一百十五日=各大臣の總括的放送

△十一百十六日=各大臣の總括的放送

△十一百十七日=各大臣の總括的放送

△十一百十八日=各大臣の總括的放送

△十一百十九日=各大臣の總括的放送

△十一百二十日=各大臣の總括的放送

△十一百二十一日=各大臣の總括的放送

△十一百二十二日=各大臣の總括的放送

△十一百二十三日=各大臣の總括的放送

△十一百二十四日=各大臣の總括的放送

△十一百二十五日=各大臣の總括的放送

△十一百二十六日=各大臣の總括的放送

△十一百二十七日=各大臣の總括的放送

△十一百二十八日=各大臣の總括的放送

△十一百二十九日=各大臣の總括的放送

△十二百日=各大臣の總括的放送

△十二百一日=各大臣の總括的放送

△十二百二日=各大臣の總括的放送

△十二百三日=各大臣の總括的放送

△十二百四日=各大臣の總括的放送

△十二百五日=各大臣の總括的放送

△十二百六日=各大臣の總括的放送

△十二百七日=各大臣の總括的放送

△十二百八日=各大臣の總括的放送

△十二百九日=各大臣の總括的放送

△十二百十日=各大臣の總括的放送

△十二百十一日=各大臣の總括的放送

△十二百十二日=各大臣の總括的放送

△十二百十三日=各大臣の總括的放送

△十二百十四日=各大臣の總括的放送

△十二百十五日=各大臣の總括的放送

△十二百十六日=各大臣の總括的放送

△十二百十七日=各大臣の總括的放送

△十二百十八日=各大臣の總括的放送

△十二百十九日=各大臣の總括的放送

△十二百二十日=各大臣の總括的放送

△十二百二十一日=各大臣の總括的放送

△十二百二十二日=各大臣の總括的放送

△十二百二十三日=各大臣の總括的放送

△十二百二十四日=各大臣の總括的放送

△十二百二十五日=各大臣の總括的放送

△十二百二十六日=各大臣の總括的放送

△十二百二十七日=各大臣の總括的放送

△十二百二十八日=各大臣の總括的放送

△十二百二十九日=各大臣の總括的放送

△十三百日=各大臣の總括的放送

△十三百一日=各大臣の總括的放送

△十三百二日=各大臣の總括的放送

△十三百三日=各大臣の總括的放送

△十三百四日=各大臣の總括的放送

△十三百五日=各大臣の總括的放送

△十三百六日=各大臣の總括的放送

△十三百七日=各大臣の總括的放送

△十三百八日=各大臣の總括的放送

△十三百九日=各大臣の總括的放送

△十三百十日=各大臣の總括的放送

△十三百十一日=各大臣の總括的放送

△十三百十二日=各大臣の總括的放送

△十三百十三日=各大臣の總括的放送

△十三百十四日=各大臣の總括的放送

△十三百十五日=各大臣の總括的放送

△十三百十六日=各大臣の總括的放送

△十三百十七日=各大臣の總括的放送

△十三百十八日=各大臣の總括的放送

△十三百十九日=各大臣の總括的放送

△十三百二十日=各大臣の總括的放送

△十三百二十一日=各大臣の總括的放送

△十三百二十二日=各大臣の總括的放送

△十三百二十三日=各大臣の總括的放送

△十三百二十四日=各大臣の總括的放送

△十三百二十五日=各大臣の總括的放送

△十三百二十六日=各大臣の總括的放送

△十三百二十七日=各大臣の總括的放送

△十三百二十八日=各大臣の總括的放送

△十三百二十九日=各大臣の總括的放送

△十四百日=各大臣の總括的放送

△十四百一日=各大臣の總括的放送

△十四百二日=各大臣の總括的放送

△十四百三日=各大臣の總括的放送

△十四百四日=各大臣の總括的放送

△十四百五日=各大臣の總括的放送

△十四百六日=各大臣の總括的放送

△十四百七日=各大臣の總括的放送

△十四百八日=各大臣の總括的放送

△十四百九日=各大臣の總括的放送

△十四百十日=各大臣の總括的放送

△十四百十一日=各大臣の總括的放送

△十四百十二日=各大臣の總括的放送

△十四百十三日=各大臣の總括的放送

△十四百十四日=各大臣の總括的放送

△十四百十五日=各大臣の總括的放送

△十四百十六日=各大臣の總括的放送

△十四百十七日=各大臣の總括的放送

△十四百十八日=各大臣の總括的放送

△十四百十九日=各大臣の總括的放送

△十四百二十日=各大臣の總括的放送

△十四百二十一日=各大臣の總括的放送

△十四百二十二日=各大臣の總括的放送

△十四百二十三日=各大臣の總括的放送

△十四百二十四日=各大臣の總括的放送

△十四百二十五日=各大臣の總括的放送

△十四百二十六日=各大臣の總括的放送

△十四百二十七日=各大臣の總括的放送

△十四百二十八日=各大臣の總括的放送

△十四百二十九日=各大臣の總括的放送

△十五百日=各大臣の總括的放送

△十五百一日=各大臣の總括的放送

△十五百二日=各大臣の總括的放送

△十五百三日=各大臣の總括的放送

△十五百四日=各大臣の總括的放送

△十五百五日=各大臣の總括的放送

△十五百六日=各大臣の總括的放送

△十五百七日=各大臣の總括的放送

△十五百八日=各

各地綜合版

志願兵制度を謳歌
十二名揃つて志願
赤誠に係官も感激

【屏東電話】屏東州下高樹庄出身の本島人青年十二名が陸軍志願兵制度を謳歌し、二十八日高樹庄岡山の郡廳へ志願書を提出するや、係官は感激して、直ちに身體檢査を行ひ、十二名揃つて合格したので、同庄では未曾有の出來事として、庄民擧つて感激してゐる

潮州郡でも五名出願

【潮州電話】六日潮州郡内に在つた志願兵制度に關する講演會に參加した青年男女多數は、講演終了後、郡廳に集合し、それぞれ志願書を提出したが、同郡下の志願者は二十七日午前十時より郡の會議室において官公衙、各團體關係者に對し、志願兵制度に關する講演會を開催したが、講師として、高雄州警察部より、警部補一名、通譯一名、屏東郡より、郡守、郡視學、郡屬、郡書記、各街庄長、各公學校長、各青年團長、各公學校訓導、各青年團幹事、各公學校生徒代表者等多數參集し、午前十時より開會、先づ國歌齊唱、次で宮城遙拜、皇軍將士に對し黙禱を捧げ、次で講師一同紹介、講師の講演に入り、午後四時散會したが、講演中は場内水を打つた如く靜肅裡に行はれ、講演終了後、參會者一同は、感激の餘り、直ちに志願書を提出したが、その數實に五名の多數に上つた

學費割いて庭木寄附

屏東　師範　本島人生徒の美擧

【屏東電話】屏東師範學校本島人生徒は今回の志願兵制度實施に感激し、學費の一部を割いて、六日屏東郡十本山郡役所に寄附した

各地の祝賀式

頭分　郡役所前廣場に於て擧行

おける感激と感謝の意を表すべく、六日午前十時より郡役所前廣場に於て、郡守、警察課長、郡視學、各街庄長、各公學校長、各青年團長、各公學校訓導、各青年團幹事、各官公衙、各團體關係者多數參集し、午前十時より國歌齊唱、宮城遙拜、皇軍將士に對し黙禱を捧げ、次で講師一同紹介、講師の講演に入り、午後四時散會したが、講演中は場内水を打つた如く靜肅裡に行はれ、講演終了後、參會者一同は、感激の餘り、直ちに志願書を提出したが、その數實に五名の多數に上つた

不言實力を蓄積

臺中州下青年層の〝沈默〟に就て

奉公青年隊長　顏春福氏談

奉公青年隊組織に關しては、その一部を既報の如く、六日臺中州下各地に於ても、それぞれ擧行されたが、左記は、當日の模樣である

皇國青年隊（假稱）結成

員林郡　青年訓育に乘出す

員林郡當局では、今回の志願兵制度實施に關し、〝今こそ起つべき秋〟と、郡下青年團の總力を結集して、皇國青年隊（假稱）を組織することとなり、從來郡下各地に於て、各種團體の組織に關し、口頭による勸誘を行つた上、去る二十五日午後一時より、員林公會堂に於て、郡下青年團幹部の參集を求め、郡當局より、皇國青年隊組織に關する趣旨の徹底を圖つたが、參集した青年團幹部は、郡下各地より、約三百名に上つた

奉公會林郡支會

七月一日發會式擧行

皇國奉公會員林郡支會發會式は、七月一日午前十時より、員林公會堂に於て擧行されることとなつたが、同會發會式當日は、午前八時より、林郡内各地に於ても、一齊に、國旗掲揚の式を擧げ、七月一日午後一時より、林公會堂に於て、總督府、軍司令部、州廳、郡役所、各官公衙、各團體、各學校、各青年團、各婦人團體、各實業團體、各町庄役所、各町庄内會、各部落會、各隣組、各家庭に於ても、一齊に、國旗を掲げ、國民儀禮を行ひ、